

令和 8 年度第 1 回 地方独立行政法人名張市立病院評価委員会議事要約

日 時	令和 8 年 7 月 1 6 日（木） 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0
場 所	名張市役所 1 階 大会議室
出 席 者	委員：伊藤委員長、江藤委員、和田委員、奥村委員 名張市：北川市長 （事務局）出江副市長、中木屋福祉子ども部長、奥保総務部財政担当部長、 金森医療福祉総務室長、阪本医療福祉総務室担当室長 地方独立行政法人名張市立病院： 登内理事長、藤井院長、吉岡事務部部長、大北事務部次長、辻川総務課長 吉岡経営企画課職員 欠席者：森岡委員 傍聴者：5 人
《議事》 ●伊藤委員長により議事進行 ◆中木屋福祉子ども部長 業務実績の評価の流れ、評価の基本方針について資料 2 「業務実績評価の流れ」、資料 3 「業務実績評価の基本方針」を基に説明 ◇吉岡事務部部長 病院の業務実績について資料 4 「令和 7 年度業務実績報告書」を基に、令和 7 年度の概況について説明 ◇大北事務部次長 資料 4 「令和 7 年度業務実績報告書」に基づき、自己評価の方法について説明 中項目ごとに、名張市立病院 大北事務部次長から自己評価の主な内容について資料 4 に基づき説明した後、市事務局 中木屋福祉子ども部長から一次評価の判断理由について資料 5 に基づき説明 委員からの意見、質疑応答等の後、最終評価	

【意見・質疑等】

大項目第2 中項目1「地域に必要な二次医療提供体制の確保」について

●和田委員

名張市という地域を考えると、訪問診療というのは、住民サービスという点でとても重要な役割であると思うので、増加しているのは良い方向である。

また、訪問診療と訪問看護、地域の訪問看護ステーションの連携が重要なので、うまく連携して、さらに充実させていただきたい。

膵臓がんの検査についても、多くの人々が安心して受診できる取組である。

サービスの質の向上については非常によく頑張っているという印象。

●江藤委員

救急の応需率、非常に頑張って改善されている。98%近い応需率というところは評価したい。

●奥村委員

コロナ禍で苦労もあったかと思うが、名張市で唯一の二次医療機関なので、維持できるよう、引き続き努力をお願いしたい。

実績報告書2ページの「施設の状況」に、200床のうち48床休止中と記載がある。スタッフ不足が要因かと思うが、改善に向けて取り組んでいることがあればお聞かせいただきたい。

◇吉岡務部長

令和8年度は看護師の採用が増加に転じており、休止していた病床を段階的に再開している。

特に、救急患者の受入れを優先する方針で、救急を断らない体制を整備している。

●伊藤委員長

一番大事な二次救急医療については、順調に対応していただき評価できるところである。

最終評価は4とする。

大項目第2 中項目2「医療の水準の向上」について

●和田委員

看護師不足が解消に向かっているというのは良いニュースであるが、原因は何か。

◇大北事務部次長

令和8年度新規採用20名のうち15名が看護学校からで、リファラル採用や派遣という新しい取組により5名採用した。紹介会社からの紹介も順調に進んでいる。

◇吉岡事務部部長

働く環境の整備に力を入れており、夜勤専従や日勤専従という取組をしている。

託児所の無償化等、職員全体の環境の改善が重要であると考えている。

●江藤委員

看護師について、派遣も良いが地元の方だと長く勤務していただけたらと思う。

昨今、看護師志望者が減少しており、大学でも応募者数が少なく、専門学校では全国的に、ほぼ定員割れという厳しい状況が今後予想される中、今後の看護師確保対策は考えているか。

◇大北事務部次長

看護学校は今年の入学者が少なく、安定的な確保の面で大きな課題となっている。

地元の潜在看護師の紹介も多く即戦力である。今後は、広報にも力を入れていく。

●奥村委員

看護師確保について、令和8年度採用のうち看護学校の卒業生は紹介手数料は不要であるが、紹介により採用した5名分の費用は、7年度決算に含まれているのか。

◇大北事務部次長

手数料は、採用後、一定期間勤務した後支払うことになっている。令和8年度採用の看護師については令和8年度支払である。看護師を採用できると病床が再開でき、直接収益につながるため、一定、必要な費用としてご理解いただきたい。

●奥村委員

理解できるが、できるだけ看護学校の定員を埋めて、手数料がかからない努力をすべき。

●伊藤委員長

一番の懸案であった看護師確保について、方向が見えてきており、順調に経営されていると感じる。看護師の定着については地元出身の看護師が戦力になると思う。

夜勤専従は非常に良い取組であるが、どのくらい申請があるのか。

◇吉岡事務部部长

夜勤専従は6名登録をしている。日勤専従は、令和8年度から2名登録している。

●伊藤委員長

ニーズに合った良い取組である。

この項については、自己評価、一次評価ともに4であるが、評価は4として良いか。

最終評価は4とする。

大項目第2 中項目3「患者サービスの一層の向上」について

●和田委員

この項目は、病院の中でもとても重要な、患者の満足というキーになるところである。

名張市立病院から市民に向かって発信をすることが重要であるが、なされていない。伊賀市では、毎月広報に上野市民病院の情報が載っている。市民講座もできておらず、情報発信が弱い。

患者の満足度も70%とか67%というのは低すぎると感じていて、評価を2にするか3にするか迷うところである。個人的にはもっと頑張っていたきたいということも込めて2.5ぐらいかと思っている。

●江藤委員

患者満足度調査について、結果の読み方が不明瞭なので、調査の回数や令和6年度と令和7年度のアンケート項目の違いを教えていただきたい。

◇大北事務部次長

調査は令和7年度は1回、入院と外来それぞれで別の項目で実施した。

評価については、各項目の平均点ではなく「この病院を紹介したいですか。」という項目の回答により評価を行った。「紹介したい」「紹介したくない」とともに少し減少しているが、「ぜひ紹介したい」人が減少したため、特に入院患者の満足度は大きく下がったと感じている。

●江藤委員

患者満足度調査はデータの読み方が難しいので、1回の期間を長くする等、患者の声に近いデータが出るように検討していただきたい。その結果が職員の満足度にもつながるので、できるだけ確かなデータを取れるように努力していただきたい。

●奥村委員

小項目（5）で、進捗状況の詳細では「市民公開講座とジュニアメディカルラリーの開催」の自己評価が3であるが、「達成状況の詳細」では、公開講座が開催できず評価2としている。メディカルラリーを開催したことや、先生方がそれぞれ講師を務めてた実績も含めて3という評価にしたのか。

◇大北事務部次長

その通り。

●奥村委員

それなら特記事項として記載するべきである。

アレルギーの子供を対象にした夏祭りについても、もっとアピールしていただければ。

●伊藤委員長

患者の満足度を上げることは大切であるが、満足度を下げる原因は、外来なら待ち時間、入院なら食事等が多いと思うが、改善点は課題として見えてきたのか。

◇大北事務部次長

外来については、駐車場の不足の件が課題であったが、患者が減少しているので待ち時間が解消され、駐車場の苦情もなくなってきた。

入院は、食事や設備の件が多い。入院は入院環境が大きなポイントである。

●伊藤委員長

この項目の評価について、3ということで良いか。

最終評価は3とする。

大項目 第2「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」について

●和田委員

それぞれ同じ比重ならば4で仕方がないと思うが、患者サービスの向上が3であるということが非常に気になるところ。

●江藤委員

患者サービスを一層頑張っていただくということで、4で良いと思う。

●奥村委員

各中項目が同じ比重と考えて4とするしかないと思う。

●伊藤委員長

評価3の項目は重要ではあるが、各項目を同じ比重と考え、頑張ってもらいたいという意味も含めて4ということではいかがか。

最終評価は4とする。

大項目3 中項目1「地方独立行政法人の内部統制」について

●和田委員

特に今、サイバー攻撃が問題になっており、委託先からの侵入が多いと聞いている。委託先が名張市と同じようなセキュリティ対策をしているかの調査や訓練をするべき。

起こるかもしれないという前提で、委員会等を設置することが重要だと考える。

●江藤委員

セキュリティについて、BCPは検討段階、セキュリティポリシーも準備段階であれば、評価は1ではないか。なぜ評価を2としたのか。

◇大北事務部次長

市の時のものがあり、法人版に改訂する必要があるが、準備が滞っている。

●江藤委員

全くないわけではなく、改訂するべきところできてないという理解で良いか。

◇大北事務部次長

情報セキュリティポリシー、BCPとも不足箇所を入れて改訂する予定。

●奥村委員

令和8年度中には必ず実施する方向でお願いしたい。

若手職員の提案の仕組みや表彰制度を導入されているが、こういった内容の提案があったのか。

◇登内理事長

最優秀チームは、退職が続いた手術室に配置された看護師が、隠れた努力を重ねて、手術室の看護師のモチベーションを上げてさらなる退職を引き止めることのできた取組で、他には亡くなった患者家族に対してのケア、アレルギーのお子さんを対象にした夏祭り等が表彰された。陰に隠れがちだが頑張っている職員を表彰することができた。

●奥村委員

良い取組である。

●伊藤委員長

サイバー攻撃対策について、引き続き取り組んでいただきたい。

表彰については、職員に周知し、制度を拡充していただくことにより、働きやすい環境になってくると考える。

この項目については、平均点は3.3であるが、評価は3で良いか。

最終評価は3とする。

大項目3 中項目2「効率的かつ効果的な業務運営」について

(法人の自己評価4に対して、市の中項目の評価は3)

●和田委員

働き方改革が促進されている中、働きやすい就業環境の整備の点数が高いことは評価できる。

「女性が働きやすい医療機関の認証」が2という点と、看護学校の入学生が激減している点について説明を求める。

◇大北事務部次長

女性が働きやすい医療機関については、三重県医療勤務環境改善支援センターの支援を受けて認証を取得する方向で進めているところであり、体制を整え、令和9年度の取得を目指している。

●江藤委員

職員の福祉厚生受診制度は非常に良い。

●奥村委員

小項目(6)の学生の確保が自己評価3というのはなぜか。入学生数の目標達成率は1なので2ではないのか。また、全体的にも自己評価が4となっているが、名張市が示した3に近いのではないか。

◇大北事務部次長

実績が伴っていないが、遠方まで学校説明会に行くなどかなり活動はしたが、法人の看護学校の許可が出るのに時間がかかり、募集の時期が遅れたことが影響している。今まで以上に取組をしたことを評価して3とした。定員割れという状況のため目標指標の評価は1とした。

●伊藤委員長

入学者数については、全国的な傾向で、ほとんどが定員割れという状況であり、名張だけが非常に悪いというわけではない。

この項の評価について、病院と名張市で4と3に評価が分かれており1の評価もあるがどうか。

●和田委員

自己評価1の入学生見込み数については全国的な傾向であるなら、働きやすい環境についての高評価もあるため、4で良いのでは。

●奥村委員

評価3

●江藤委員

専門学校の目標値が20人というのが厳しいと感じる。

目標値からみると1ではあるが、厳しい中でも9人何とか確保したと考え、自己評価2でも良いのでは。全体評価は4で良いと考える。

●伊藤委員長

そういったことを鑑み、どこも厳しいといった事情をご理解いただいて4ということで良いか。最終評価4とする。

大項目第3「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」について

最終評価3とする。

大項目第4「財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」 中項目1「収支の改善」について

(法人の自己評価大項目3、中項目3に対して、市の評価は大項目、中項目ともに2)

●和田委員

赤字の原因としては、病床稼働率が低いことが最大の問題ではないか。

入院診療単価や外来診療単価もそれ程低くないが、患者数が少ないというのが問題である。

地域医療連携室を強化したとのことであるが、主に後方連携を強化されているようである。もっと地域連携室がコンシェルジュとなり、地域の医療機関から患者を紹介していただきやすくすべき。

また、地域の医療機関から紹介があった際に直接診療科への確認が必要であり、紹介患者が予約を取りにくい仕組みとなっている病院が多く、地域医療連携室の前方連携の強化と、診療科へのつながりの強化をして、患者数を増やすというところに注力していただきたい。

●江藤委員

外来収益が落ちている原因について、どんな分析をしたか。

◇大北事務部次長

呼吸器内科の医師が退職したことと、小児科では市内に新たな開業があったため、大きく患者が減少したが、他の診療科でも紹介患者が平均的に減少している現状がある。

病院の対策としては、地域の医療機関と密に連携を取っていくことと、専門外来等で診療科の幅を広げるという方針で進めている。

●江藤委員

患者数が全体的に減少しているというのは、どこかにいっているのか。

◇大北事務部部長

小児科は、新たな開業医を受診されていると思われる。

二次医療については、伊賀の3病院全体で減少している。名張市立病院は少し減少率が大きいですが、やはりコロナ禍以降外来が戻らないのは、受療動向の変容があると思われる。

●奥村委員

資料7「財務諸表等」の損益計算書の当期総損失5億3千万円というは1年間の赤字額と理解して良いか。

◇辻川総務課長

損益計算書は、地方独立行政法人になった10月1日から3月31日までの半年間の経営状況。

病床稼働率など他の項目は全部一年間で、収益ベースのところだけ半年としている。

◇大北事務部次長

5億の純損失の理由としては、外来収益の1億円の減収、給料のベースアップ等による給与費の

増加、新しく法人になった時に減価償却費の計算が変わったことによる。これらを除けば、概ね計画通りの3億円の純損失である。

◇辻川総務課長

法人化後の10月1日からの半年間の損失は5億3100万であるが、法人化前は黒字決算であり、年間では5億円弱の純損失となる。

中期計画を作成する際に、後半の半年間の人件費を1/2として計上したが、退職者やベースアップ分を一年分遡及して3月に支払ったことなどから、支出が後半に偏る結果となった。

●奥村委員

看護師を増員し、病床も再開しているということで、今後は改善が見込めるということで良いか。

◇大北事務部次長

今は病床を閉めているが、予定通り再開すれば、病床稼働率は60%程度になり、単価も上がっているため、収益も見込めるという改善計画になっている。

●伊藤委員長

外来患者が減少した原因は何か。市民が困っているなら改善する必要があるのが公立病院の性質であり、違う病院に行こうとしていないか、患者が来院した時の接遇をきちんとして満足度を上げていく対応が望まれる。

和田委員からも指摘があったが、紹介患者が予約を取りにくいというところは課題であるので、適切につながるよう改善していただく必要がある。

評価について、法人と市で乖離しているがどうすべきか。

●奥村委員

ここは肝なので、評価2で。

●和田委員

予定通りという話があったが、より今後、頑張ってもらうために2としてはどうか。

最終評価は大項目、中項目とも2とする。

大項目第5 中項目1「地域の医療水準向上への貢献」について

●和田委員

この項目については、頑張っていたので、4で良いのでは。

●伊藤委員長

法人、市の評価ともに4であり、評価4として良いか

最終評価4とする。

中項目2「市及び県の施策への協力」について

●和田委員

地域医療連携推進法人の取組について、これは伊賀市と名張市の3つの病院をいかに有機的に効

率的に市民のために配置するか、それぞれがどんな役割を担うかという非常に重要なものなので、是非、実現に向けて頑張ってください。

●伊藤委員長

この項目については、市の評価も自己評価と同じであるが、3ということで良いか。

最終評価は3とする。

大項目第5「その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためにとるべき措置」について

●伊藤委員長

大項目についても、自己評価、市の評価と同じ4で良いか。

最終評価は4とする。

●伊藤委員長

最後に、市としての全体評価の説明を。

◆中木屋福祉子ども部長

全体評価について、資料5に基づき説明。

●和田委員

自治体病院協議会に独法委員会というのがあり、独法になった病院が情報交換をされている。機会があれば参加して、他の病院で人事制度や、材料の購入方法など、いろんな話を聞かれたら良いのでは。

●伊藤委員長

今日、委員の皆さま方からいただいた意見を、事務局で取りまとめて、私が本委員会を代表して意見書を市長に報告させていただきたいと思うが、いかがか。

～了承

その他について、事務局から連楽事項

◆事務局

今後について、本日いただいた意見や、本日の評価委員会の議事録を事務局でとりまとめ、委員長をはじめ委員の皆様にご確認いただきたい。その後、評価委員会からの意見書をもとに市の最終評価を作成し法人へ通知。市議会へ評価の結果を報告するとともに、ホームページ等を通じて広く公表する予定。